

心理療法とイメージ

講師：河合俊雄(当研究所顧問/京都こころ研究所)
田中康裕(京都大学大学院教育学研究科)

2026年10月4日(日)
10:00~17:00

10:00~11:00 講義①:河合俊雄
11:00~12:00 講義②:田中康裕
12:00~12:30 ディスカッション
(12:30~13:30 昼食休憩)
13:30~15:00 事例①
15:00~16:30 事例②
16:30~17:00 ディスカッション

心理療法においては、クライアントが言語などで自分を表現することが大切であるが、ユング派の心理療法においては、イメージが重視される。しかもユングはイメージをクライアントの表現だけではなく、クライアントとセラピストとの間に生じてくる第三のものと考えていた。これは、イメージが自律的な魂を持つという前近代の世界観に通じるものである。河合俊雄が心理療法におけるイメージの位置づけ、夢、箱庭、描画などの様々なイメージを用いる技法を概説し、田中康裕が見立てにおけるイメージについて解説した後、ディスカッションを行う。後半部分では、実際の心理療法におけるイメージについて事例から検討したい。

参加形態

会場出席/オンライン(zoom)

受講資格

- ①心理臨床の実践に(職業として)携わっている
 - ②医師として精神科・心療内科で臨床実践を行っている
 - ③大学院(修士/博士課程に在籍)で臨床心理学を専攻している
- 上記のいずれかに該当し、守秘義務を厳守できる者

受講料

11,000円(税込) 大学院生5,500円

定員

90名(会場出席)

会場

ビジョンセンター品川アネックス
(品川駅 高輪口より徒歩3分)

申込方法

下記のQRコードからセミナーの内容を確認の上、
申込フォームからお申し込みください。

セミナーページ



- ・心理臨床の専門家および大学院生が対象のセミナーです
- ・本セミナーは、臨床心理士資格継続のための「ワークショップ型研修会」としてポイントを申請します

